

2024 年度新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 第1回 2024年6月15日
年間テーマ：イエスの声に耳を澄まし、新たな道を歩き出そう、共に手をたずさえて

新しい歌、新しい一歩
～みことばを私たちにも聞かせてください～

主任司祭 高祖 敏明 (イエズス会)

I. 今日の集いのテーマと狙い

1) 聖霊によって宿った幼子の成長

(フランスの) ステラのイサク修道院長 (1110—1169 年頃) の説教

私たちの頭である人の子は、霊によって処女の胎からお生まれになりましたが、
その同じ霊によって、キリストの体である私たちは神の子として洗礼の泉から
新たに生まれます。

「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」(ルカ 2・40)。

「ナザレに帰り…イエスは知恵も増し、背丈も伸び、神と人ともに愛された」(同 52)

➡ルカが記すようにマリア様は聖霊によって身ごもりイエスを産んだのですが、私たち
も水と聖霊による洗礼を受けて幼子をさずかりました。その子を育て自分も育つこと、
信仰の道も歩み続けて成長し、成熟することが期待され、求められています。

2) 「新しい歌」を歌い、みことばが招く「新しい一歩」を踏み出す一歩でも、どうやって？

「イエスは口を開き、教えられた。『私が来たのは律法や預言者を廃止するためだと、
思ってはならない。廃止するためではなく、完成するためである。』」(マタイ 5・17)

II. 「新しい歌を主に歌え」の聖書における位置と意味 (新共同訳聖書を元に)

1) 聖書全体で「新しい」という言葉は何回ぐらい使われているの？

旧約聖書 87回：新しい (酒、オリーブ、ぶどう酒、歌、天と地、契約、心、霊など)

例「私が清い水をお前たちに振りかけるとき、お前たちは清められる…私はお前たちに
新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く…お前たちの体から石の心を取り
除き、肉の心を与える…私の掟に従って歩ませ」る (エゼキエル 36・25-26)。

新約聖書 59回：新しい (ぶどう酒、掟、契約、人、歌、エルサレム、天と地、など)

例「誰も新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはしない。そんなことをすれば、新しい
ぶどう酒は革袋を破って流れ出し、革袋もダメになる…また、古いぶどう酒を飲めば、
誰も新しいものを欲しがらない」(ルカ 5・37-39。マタイ 9・17、マルコ 2・22)

「あなた方に新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。私があなた方を愛したよう
に、あなた方も互いに愛し合いなさい」(ヨハネ 13・34)。

旧約聖書続編 4回：略

➡『聖書語句事典』を参照

2) 「新しい歌を主に歌え」は聖書のどこに出てくるの？

新しい歌：旧約聖書に 7 回（詩編に 6 回、イザヤ書に 1 回）

新約聖書に 2 回（いずれも黙示録）

新しい賛歌：旧約聖書続編に 1 回

「私は神に向かって新しい賛歌を歌おう。主よ、あなたは偉大で栄光に輝き、その力は驚嘆すべく、敗れることを知らない。」（ユデイト 16・13）

旧約聖書（詩編とイザヤ書、ユデイト記）：新しい歌を主に歌え→現在の呼び掛け

詩 33・3「新しい歌を主に向かって歌い 美しい調べとともに喜びの叫びをあげよ」

96・1「新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え」

98・1「新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた」

149・1「新しい歌を主に向かって歌え。主の慈しみに生きる人の集いで賛美の歌を歌え」

イザヤ 42・10 a 神の勝利

「新しい歌を主に向かって歌え。地の果てから主の栄誉を歌え」

新約聖書（黙示録）：新しい歌を歌った→過去完了形

黙 4・9～10 出エジプトの救いを体験してモーゼが歌った歌(15・1 以下)を背景に

「彼ら（4つの生き物と 24 人の長老）は新しい歌を歌った。

『あなたは巻物を受け取り、その封印を開くのにふさわしい方です…。

黙 14・3～5 14 万 4 千人（額に子羊の名と、子羊の父の名とが記している）の歌

「彼らは、玉座の前、また 4つの生き物と長老たちの前で新しい歌の類を歌った。

3) 「新しい歌を主に歌う」にはどんな意味があるの？

黙 4・9～10 出エジプトの救いの体験をもとにモーゼが歌った歌を背景に

「彼ら（4つの生き物と 24 人の長老）は新しい歌を歌った。

『あなたは巻物を受け取り、その封印を開くのにふさわしい方です。

あなたは、屠られて、あらゆる種族と言葉の違う民、

あらゆる民族と国民の中から、ご自分の血で、神のために人々を贖われ、

彼らを私たちの神に仕える王、また祭司となさったからです。

彼らは地上を統治します。』

黙 14・3～5 14 万 4 千人（額に子羊の名と、子羊の父の名とが記している）の歌

「彼らは、玉座の前、また 4つの生き物と長老たちの前で新しい歌の類を歌った。

この歌は、地上から贖われた 14 万 4 千人の者たちのほかに、覚えることができなかった…この者たちは、神と子羊に献げられる初穂として、人々の中から贖われた者たちで、その口には偽りがなく、咎められるところのない者たちである。」

→あらゆる種族と言葉の違う民、あらゆる民族と国民の中から、ご自分の血で、神と子羊

に献げられる初穂として人々の中から贖われた＝新しい救いの体験を、神と子羊に感謝しながら物語る歌

4) 子羊による贖いがもたらした「新しい天と新しい地」

旧約聖書の「新しい天と地」：イザヤ 65・17、同 66・22

「見よ、私は新しい天と新しい地を創造する。初めからのことを思い起こす者はいない。それは誰の心にも上ることはない。」

「私の創る新しい天と新しい地が、私の前に永く続くように、あなたたちの子孫とあなたたちの名も長く続くと主は言われる。」

新約聖書の「新しい天と新しい地」①：2ペトロ 3・10-13

「主の日は盗人のようにやってきます。…その日、天は焼け崩れ、自然界の諸要素は燃え尽き、溶け去ることでしょう。しかし私たちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神に約束に従って待ち望んでいるのです。」

新約聖書の「新しい天と新しい地」②：黙示 21・1-4

「私はまた、新しい天と新しい地を見た。…その時、私は玉座から語り掛ける大きな声を聞いた。『見よ、神の幕屋が人の間であって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きもない。最初のものは過ぎ去ったからである。』

Ⅲ. 「新しい救い」の意味と意義—「新しい救い」とは何を意味しているの？

1) 洗礼者ヨハネの証言

マルコ 1・7-8 「彼（洗礼者ヨハネ）はこう宣べ伝えた。『私よりも優れた方が後から来られる。…私は水であなた方に洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる』」

ヨハネ 1・29-34 「その翌日、ヨハネは、自分の方にイエスが来られるのを見て言った。『見よ、世の罪を取り除く神の子羊だ』…水で洗礼を授けるために私をお遣わしになった方が、『“霊”が降って、ある人にとどまるのを見たら、その人が、聖霊によって洗礼を授ける人である』と私に言われた。私はそれを見た。だから、このかたこそ神の子であると証したのである。」

2) 水と霊によって新たに生まれる：ヨハネ 3・3-6

「イエスは答えて言われた。『はっきり言うておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。』…『はっきり言うておく。誰でも水と霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできない。肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。』」

聖霊が降る：使徒言行録 2・1-4

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえて、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が別れ別れに現れ、一人ひとりの上にとどまった。すると一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話し出した。」

新しい霊の授与：ヨハネ 20・21-23

「イエスは重ねて言われた。『あなた方に平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなた方を遣わす。』そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。『聖霊を受けなさい。誰の罪でも、あなた方が赦せば、その罪は赦される。誰の罪でも、あなた方が赦さなければ、赦されないまま残る。』」

3) 新しい契約—旧約聖書の記述と新約聖書の記述との対比

エレミア書「見よ、私がイスラエルの家、ユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。この契約は、かつて私が彼らの先祖の手を取ってエジプトの地から導き出したときに結んだものではない。…来るべき日に、私がイスラエルと結ぶ契約は…私の律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。」(31・31-33)

ルカ福音書「イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。『これはあなた方のために与えられる私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。』食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。『この杯は、あなた方のために流される、私の血による新しい契約である。』」(22・19-20)

参考：「主イエスは、渡される夜、パンを取り…食事の後で、杯も同じようにして、『この杯は、私の血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、私の記念としてこのように行いなさい』と言われました。」(I コリント 11・23-25)

4) エマオの弟子たちの体験：ルカ 24・13-35

「ちょうどこの日、二人の弟子が…エマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について…話し合い論じ合っていると、イエスご自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。イエスは、『歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか』と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった……

二人は言った。『もう今日で三日目になります。ところが、仲間の婦人たちが私たちに驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、遺体を見つけずに戻ってきました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたというのです。

仲間の者が何人か墓へ行って見たのですが、…あの方は見当たりませんでした。』そこでイエスは言われた。『ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの云ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。』……

二人が、…無理に引き留めたので、イエスは共に泊まるために家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、『道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、私たちの心は燃えていたではないか』と語り合った。そして時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたといていた。二人も、道で起こったことや、パンを裂いて下さったときにイエスだと分かった次第を話した。

→聖書の預言とその成就を知ること、パンを裂くこと、仲間と共にいることの重要性

IV. 絶えざる成長・成熟—キリストの背丈にまで

1) 天の国は成長する

「イエスは彼ら(弟子たち)に言われた。『天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる』」(マタイ 13・31-32)。

新共同訳：「私たちは皆、神の子に対する信仰と知識において一つのものとなり、成熟した人間になり、キリストの満ち溢れる豊かさにまで成長するのです」(エフェソ 4・13)

フランシスコ会訳：「私たちは皆、信仰によって、また、神の子を深く知ることによって、一つになり、成熟した人、すなわち、キリストのうちに満ちているものに満たされて、その背丈にまで達するようになるのです」(エフェソ 4・13)

2) 成長し成熟するための糧

神の国の秘密は「キリストの言葉と行いと現存によって人々の前に現れる」(『教会憲章』5項)。キリストとの交わりを深める(祈りや秘跡、愛の業、仲間と共にいて信仰体験を分かち合うことなど)によって成長し成熟していく。

参考：ミサは二つの(共同体の)食卓から成る(参考：エマオの弟子たちの体験)。

- ① ことばの典礼(人はパンのみによって生きるのではなく、神のことばによって生きる)
- ② 感謝の典礼(パンとぶどう酒の祭儀=最後の晩餐の記念=主イエスの受難・死と復活・昇天の再現)

→新しい歌：「声で歌い、心で歌い、口で歌い、生活で歌いなさい」(アウグスチヌス)